

3月17日(月) 13:30～18:40 富山大学 理学部2階 多目的ホール
(<http://www.sci.u-toyama.ac.jp/aboutus/guide.html>)

第16回植物オルガネラワークショップ「オルガネラの遺伝子発現と細胞内シグナリング」

世話人(50音順): 小保方潤一, 加藤裕介, 河野重行, 楠見健介, 小林裕和,
西村芳樹, 林田信明, 宮沢 豊, 若杉達也

13:30	開会・世話人挨拶
セッション1: オルガネラの遺伝子発現制御 (13:35～15:05)	
13:35～14:05	巨大RNA結合タンパク質ファミリーによる転写後制御システム 藤井壮太 ¹ , 佐藤望 ¹ , 鹿内利治 ^{1,2} (1京都大学, 2CREST)
14:05～14:35	植物特異的ミトコンドリア mRNA poly(A)制御機構 平山隆志 (岡山大学)
14:35～15:05	シロイヌナズナ葉緑体Clpプロテアーゼの基質探索 Kenji Nishimura, Yukari Asakura, Giulia Friso, Jitae Kim, Soo-hyun Oh, Heidi Rutschow, Lalit Ponnala, Klaas J. van Wijk (Cornell University)
15:05～15:20	休憩
セッション2 オルガネラの進化と細胞内ネットワーク形成 (15:20～17:20)	
15:20～15:50	単膜系ペルオキシソーム分裂マシンの構造・機能解析とその起源 井元祐太 ^{1,2} , 大沼みお ^{2,3} , 黒岩晴子 ^{2,3} , 河野重行 ^{1,3} , 黒岩常祥 ^{2,3} (1東京大学, 2立教大学, 3JST・CREST)
15:50～16:20	色素体の成立と貯蔵多糖代謝の進化 鈴木英治 (秋田県立大学)
16:20～16:50	気孔のCO ₂ シグナリング, 細胞膜から細胞膜へ 橋本(杉本)美海, 射場厚 (九州大学)
16:50～17:20	色素体分化と概日時計機構を支える核と葉緑体間のシグナル伝達 華岡光正 (千葉大学)
17:20～17:30	休憩
17:30～18:30	特別講演「生物発光リアルタイム測定系の開発と生物時計研究」 石浦正寛 (名古屋大学 名誉教授)
18:30	総合討論
18:40	閉会
19:00	ミキサー 富山大学 大学生協 Open Cafe AZAMI (五福キャンパス正門横)

上記のワークショップを第55回日本植物生理学会年会のサテライトとして開催します。ワークショップへの参加は無料です。また、ミキサーの参加費は3,500円(予定)で、当日会場にて徴収します。ワークショップおよびミキサーへの参加希望者は3月10日(月)までに次のホームページよりお申し込み下さい。当日参加も歓迎します。<http://sfns.u-shizuoka-ken.ac.jp/pctech/workshop>

連絡先: 若杉 達也 (wakasugi@sci.u-toyama.ac.jp)

楠見 健介 (kkususcb@kyushu-u.org)

3月17日(月) 16:00～19:00 理学部C105教室

ワークショップ「茎寄生植物ネナシカズラ研究事始め」

—これからネナシカズラの研究を始める方のために—

新学術領域研究「植物細胞壁機能」共催

世話人：西谷 和彦（東北大学）
青木 考（大阪府立大学）

16:00

開会

以下の4つの話題を提供し、食事を挟んで参加者間で情報交換を行います。

話題1 「ネナシカズラ研究を始めるために—採種，発芽，寄生実験，遺伝子解析—」
若杉達也，山田恭司（富山大学），古橋勝久（名古屋植物資源研究所）

話題2 「ネナシカズラ (*Cuscuta japonica*) のトランスクリプトーム de novo アセンブリ」
池上大輔，青木考（大阪府立大学）

話題3 「レーザーマイクロダイセクション法によるネナシカズラ寄生根の組織特異的な
オミクス解析を目指して」
横山隆亮，柴田航希，堀江佐知子，牧雅之，西谷和彦（東北大学）

話題4 「ネナシカズラの揮発性化合物活用戦略—宿主探索と節足動物の誘引—」
松井健二（山口大学）

19:00

閉会

第1日目 午後 関連集会

3月18日(火) 18:45～20:45 A会場

植物生理若手の会 2014 (第32回講演会)
博士号取得後のキャリアパス ～企業研究者, 国内PI, 海外PIに聞く～

18:45～18:55	世話人挨拶 (門田・清水・宮本)
18:55～19:30	「アカデミックPIの実際—テニュアトラック制度の経験を踏まえて—」 大西利幸 (静岡大, 准教授)
19:30～20:05	「応用研究と基礎研究のギャップ 砂の上に城が建つこともある. でもそれでいいの?」 岡田敦 (日本農薬株式会社, 研究主任)
20:05～20:40	「世界のアカデミアを歩む」 津田賢一 (Group Leader / Max Planck Institute for Plant Breeding Research (Germany))
20:40～20:45	総合討論 (門田・清水・宮本)

責任者: 門田康弘 (The Sainsbury Laboratory, UK)
清水崇史 (理化学研究所 環境資源科学研究センター)
宮本皓司 (帝京大学理工学部)

E-mail: jsyppmeeting@yahoo.co.jp

植物生理若手の会 website: <http://www014.upp.so-net.ne.jp/jsypp/>